

2019年2月14日

各位

会社名 株式会社ダイキアクシス  
 代表者名 代表取締役社長 CEO 大亀 裕  
 (コード番号: 4245 東証第一部)  
 問合せ先 専務取締役 CFO 経営管理本部長 堀淵 昭洋  
 (TEL: 089-927-2222)

## 中期経営計画「Make FOUNDATION Plan(ESG 経営の推進)」の策定に関するお知らせ

当社は、2021年12月期を最終年度とする中期経営計画「Make FOUNDATION Plan(ESG 経営の推進)」を策定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 策定の背景および目的

これから当社グループが迎える時代は、少子高齢化による国内経済の縮小、グローバル化の進展など、成長し続けるにはそれら諸問題に対応していく必要があります、中長期的には勝ち組・負け組の色が鮮明になると考えます。

そのような状況下にあることを踏まえ、中長期的な視点で各事業の目指す道にマイルストーンを立て、評価・改善を行うことが大切であると考えます。

事業環境は常に変化し続けており、日々柔軟な対応が必要としつつも目指す道を逸脱する事なく、コーポレートスローガン「PROTECT×CHANGE」の体現と ESG 経営の推進が企業価値向上に繋がると考えております。

前中期経営計画の評価・反省のもと、2019年から2021年までの3か年の目標として中期経営計画「Make FOUNDATION Plan(ESG 経営の推進)」を策定し挑戦することといたしました。

#### 2. 中期経営計画の数値目標

数値目標	2018年度	2021年度	成長見込	
連結売上高 (内、海外売上高)	36,224 百万円 (1,153 百万円)	40,000 百万円 (3,000 百万円)	+3,775 百万円 (+1,846 百万円)	110.0% (260.0%)
連結営業利益	923 百万円	1,700 百万円	+776 百万円	184.2%
連結経常利益	1,100 百万円	1,800 百万円	+699 百万円	163.5%
連結当期純利益	861 百万円	1,100 百万円	+238 百万円	127.7%
自己資本利益率 (ROE) ※1	12.7%	13.2%以上	+0.5%以上	—
投下資本利益率 (ROIC) ※2	4.2%	5.5%以上	+1.3%以上	—

※1 自己資本利益率(ROE) = 当期純利益 ÷ 自己資本の期首期末平均

※2 投下資本利益率(ROIC) = 修正営業利益 × (1 - 実行税率) ÷ (有利子負債 + 株主資本)

修正営業利益 = 営業利益 + 仕入割引

3. 数値目標達成のための重点施策

ESG経営の推進

Environment (環境)	環境機器関連事業、住宅機器関連事業、再生可能エネルギー事業の社業を通じた環境改善の推進
Social (社会)	社内制度の見直しや働きがいのある環境整備等の働き方改革 官民一体での取り組み参加や環境改善に対する啓蒙活動を通じた社会支援 女性や外国人等、様々な文化や考えの受入等による多様性の確保
Governance (ガバナンス)	経営と執行の分離等の経営機構改革 社外取締役や監査等委員の設置によるリスク管理・監督機能の強化 会社説明会の開催や非財務情報の発信等の情報発信の強化

中期経営計画期間における重点施策の「ESG 経営の推進」を骨子とするとともに、次の「成長戦略」と「メインテーマ」を推進してまいります。

成長戦略

海外展開	成長期待の高い海外展開のスピードアップ
ストックビジネス	利益率の高いメンテナンス事業、上水エスコ事業の取り組み強化
技術力・製品開発力	多種多様な水に対応できる技術力・開発力の強化
再生可能エネルギー	太陽光発電に係る売電事業、バイオディーゼル燃料関連事業、風力発電機関連事業等、再生可能エネルギー関連事業の推進
M&Aの推進	既存事業とのシナジーや新たな技術の取り込みを目的とし、国内外におけるM&Aの推進
安定から成長への転化	グループのベースとなる住宅機器関連事業の成長事業への転化 エリア攻略、商材拡大、構造変更

メインテーマ

生産性の向上 (IT推進)	ITを活用し、新たな発想をもとに事業の効率化(生産性向上)、高度化および新たな価値・市場の開拓
企業基盤整備	新人事制度を中心とし、やりがい・高度な専門性・国際色豊かな人材の確保等を目的とし、企業基盤の強化を図る

以上

資料に記載されている内容は種々の前提に基づいたものであり、将来の計画数値、予想数値等に関する記載について、不確実な要素を含んでおります。